

⑥ 大脳半球

268

脳全体の重さの(80)%を占める。
前頭葉. 頭頂葉. 後頭葉. 側頭葉. 島の5つの区域に分けられる。
表面から約3mmまでの部分は(灰白質)からなる大脳皮質で
それより内部は(白質)からなる骨髄質である。
骨髄質の深部には(大脳基底核)がある。

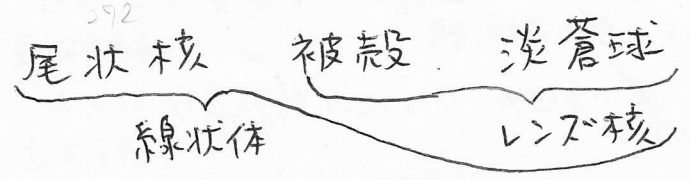
表面は多数のまがりくねった溝と、これにより生じた高まり(回)によりおおわれる。

大脳の各領域は特定の機能と特定の体部に対応
中心前回 --- 全身の骨格筋に随意運動の指令を発する(運動)領
中心後回 --- 触覚や温度覚など全身の皮膚感覚の刺激が到達する(知覚)領

左半球の皮質は(右)半身の、右半球の皮質は(左)半身の運動や知覚に関係

大脳皮質の機能局在性 ← 皮質の各部分に対応して異なる機能中枢
視覚領
聴覚領
運動性言語中枢
感覚性言語中枢
前頭葉
前頭葉連合野 → 意識

⑦ 大脳基底核 --- 大脳骨髄質のなかにある(灰白質)



骨格筋の緊張度を調節する。
錐体外路系に属し、不随意運動の発現にあずかる。
(パーキンソン病 緊張度↑)